

第2学年 道徳学習指導案

2025年11月22日(土) 2校時

町田市立小山小学校

指導者 1組(33名) 中村 潮里

2組(32名) 上岡 綾

3組(33名) 莊 さとみ

- 1 ねらい よいと思ったことは、進んで行おうとする心情を育てる。
「よいと思うことを」(A: 善悪の判断、自律、自由と責任)
- 2 資料名 「わすれられない えがお」
(出典 東京書籍「新しいどうとく」第2学年)
- 3 展 開

	学習活動(主な発問と予想される児童の反応)	○指導上の留意点 ☆・・・評価
導 入	1 正しいと思ったことをできた経験とできなかった経験を思い出す。 ①正しいことをしないといけないと思っても、できなかったときはありますか。 ・学校の帰り道、いけないことは分かっていたけど友達と寄り道をした。	○キーワード「正しいと思ったこと」を提示し、児童の問題意識を高めるようにする。
展 開	2 「わすれられない えがお」を読んで話し合う。 ①隣のおばさんの足を踏んでしまった時、「わたし」はどんなことを思ったでしょう。 ・あやまらなくちゃいけない。 ②もう一度おばさんの顔を見た時、「わたし」は、どんなことを考えたでしょう。 ・どうしよう、やっぱりこわそうだな。 ・今あやまれば、気持ちがすっきりするかも。 ③おばさんの顔がほころんでえがおになった時、「わたし」の心の中は、どんなだったでしょう。 ・ちゃんと謝れてよかった。 ・おばさんが笑顔になってくれてよかった。 3 自分の生活を振り返る。 ①正しい行いをしてよかったことはありますか。 ②また、そのとき、どんな気持ちでしたか。 ・友達でもいけないことはいけないと言う。その後も仲良くしている。	○「人がいっぱいの中」の設定を伝えてから教材提示する。 ○「わたし」の心の中の葛藤を自分との関りで考えられるように、「わたし」のおかれている状況を把握させる。 ○正しいと思ったことができたときのことを、自分との関わりで考えさせる。 ☆正しいと思ったことができるよさを考えている学習状況を把握する。 ○ワークシートを用意し、自分の考えを整理させる。 ☆友達に親切にされたり、親切にしたりした経験を思い出し、そのときの気持ちを考えているか。
終 末	4 正しいと思ったことを進んで行うことについて、教師の話聞く。	○正しいと思ったことを進んで行った経験について書かれた児童の作文を読み聞かせることも考えられる。

※本時は学年の児童の実態に基づき設定されました。

授業内容やねらいとされることについて、ぜひご家庭でも話をする機会を設けていただければと思います。よろしくお願いします。